

八幡特別支援学校 感染拡大防止の取組 第6弾

卒業式が終わり、在校生も3月24日（水）に修了式を迎えました。
今年度、八幡特別支援学校では様々な感染拡大防止の取組を行ってきました。
第6弾は、今年度の取組について振り返ります。

—玄関先での検温と消毒—

検温器が新たに導入され、来校者の検温がスムーズに行えるようになりました。
出入り口での検温と消毒を徹底できるようにしました。



—今年度、とくに気を付けたこと—

本校の職員・生徒に、どんなことに気を付けたのか訊ねてみました。

(保健室より)

今年度の保健室は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なことへの対応が求められる1年となりました。一斉臨時休校のため、健康診断の延期や感染対策を徹底した実施方法の改善。体温計やアルコール等の感染対策に必要な物品の確保や消毒方法。第2保健室の設置。子どもたちの体調管理や予防の呼びかけ等。日々変わっていく情報に混乱しながらも、検討を重ねて対応していきました。

(事務室より)

事務室では感染拡大防止につながるように、いろいろな物品を揃えました。アルコールやタオルだけでなく、授業で使う道具も共用しなくて済むようにできるだけ整備しました。

(給食室より)

給食は全校児童生徒、全職員に提供されるため、特に感染予防を徹底しました。児童生徒が直接触れるワゴンや配膳台、テーブルのアルコール消毒を丁寧に行いました。また、調理員同士の感染を避けるため、ミーティング時は人同士の間隔を空ける、休憩室の利用制限に努めました。

(教頭より)

手洗い、換気、三密回避、マスク着用、そして手指消毒の対策を早期から、生徒に見本を提示しながら繰り返し行ってきました。

同僚や上司、児童生徒から新型コロナウイルスに関する質問をされたら正確に答えられるよう、新型コロナウイルスに関する最新の情報を集めるようにしました。また、それらを伝える際は、なるべく恐怖をあおらない形で、かつ客観的な事実に基づいて伝えるようにしました。

(生徒より)

- ・マスクをきちんとつけること、手洗いをする事。
- ・ソーシャルディスタンスをとること、マスクをきちんとすること。
- ・手洗いと消毒。
- ・外から帰ってきたらすぐに手を洗う、相手と話すときはきよりをとる。
- ・ソーシャルディスタンスとアルコール。
- ・てあらい・うがいとマスクをして気を付けています。
- ・外に出かけるときは人込みをさけ、マスクを食事以外ははずしたりしないようにしました。帰ってきたあとも、うがい手洗いを心がけました。食事中もあまりしゃべらないようにしました。

《来年度以降も、感染拡大防止の取組みを徹底して行い、安心できる学校づくりに努めます。》